

豊橋市・田原市から見る 農業の発展

南山大学 相浦ゼミ
早川桐奈・杉原真琴・熊谷星香・田口天馬



目次

1. 全国的な農業の問題点

第一次産業の
割合

年齢別新規就
農者数

新規就農者数

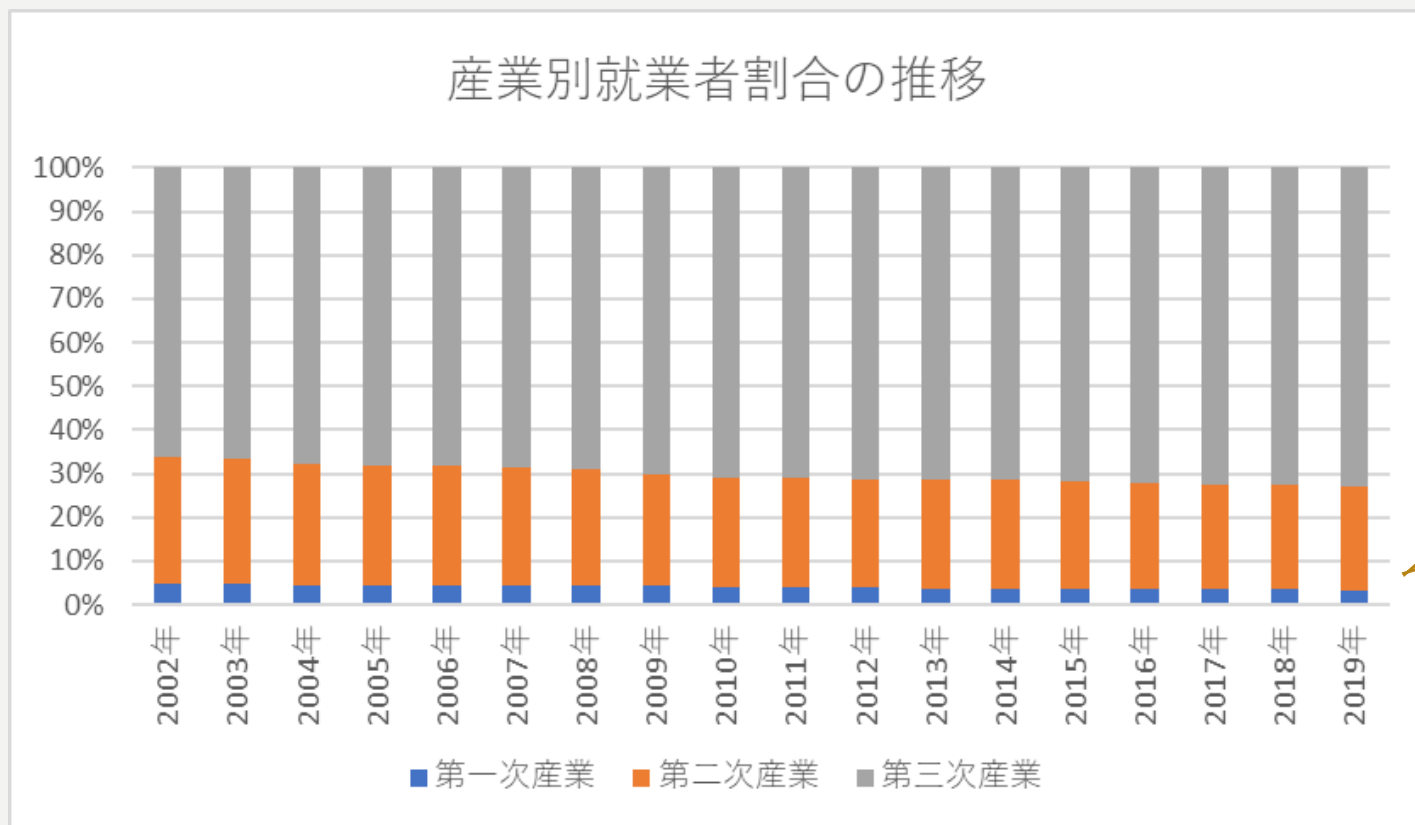
2. 豊橋市・田原市の農業の特徴

3. 六次産業とは？

4. 豊橋市・田原市での3つのインタビュー先の紹介と内容

5. 分析から考える全国の農業の発展に必要なこと

① 第一次産業の割合



第一次産業は、全産業の割合から見ると、例年10%以下

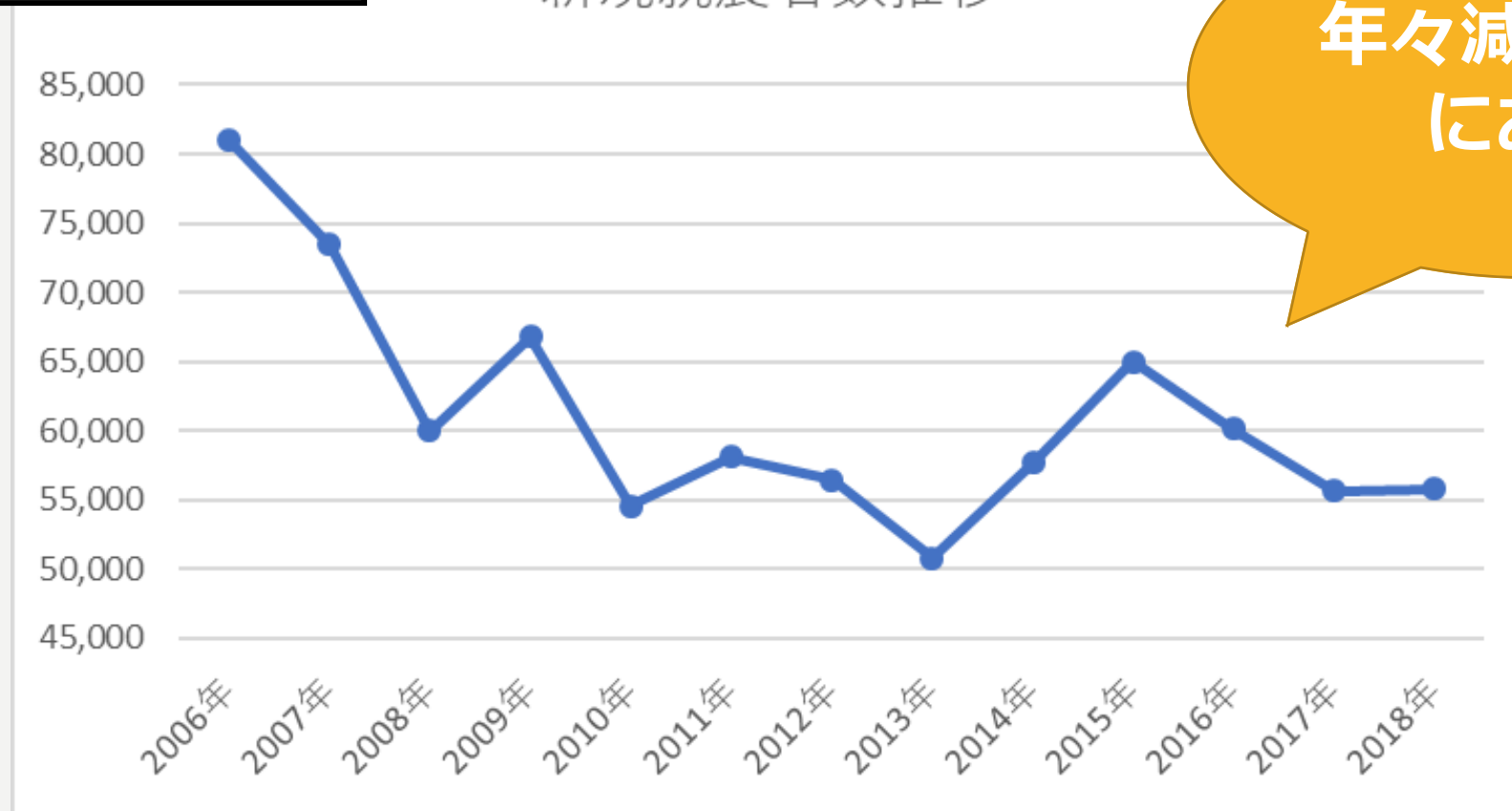
(参考)総務省統計局 / 労働力調査

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html>

②新規就農者数

2006年以降13年間の推移

新規就農者数推移

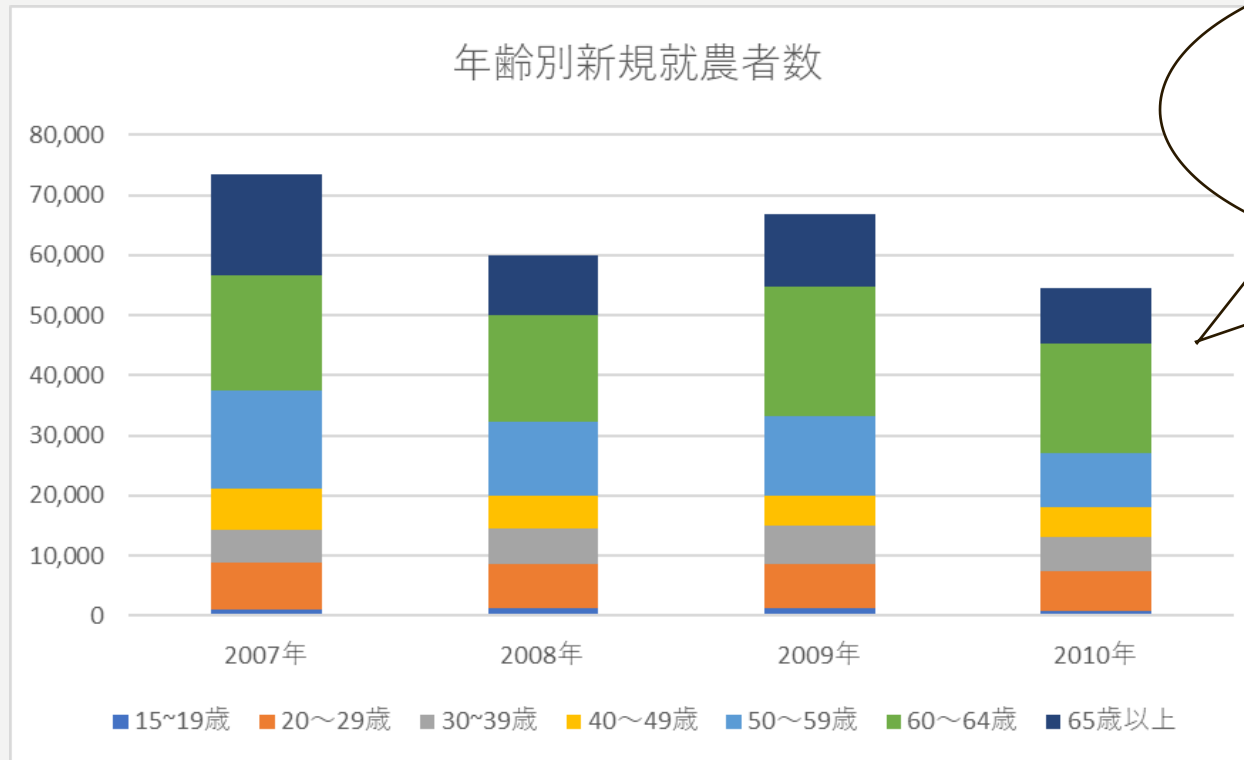


年々減少傾向
にある

(参考)新規就農者数調査：農林水産省

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sinki/>

③ 年齢別新規就農者数



60~64歳、65歳以上の割合が半数を占めている

- 60~64歳の新規就農者数割合が最も多い
⇒定年後に新しく農業を始める
- 50代以降に参入する人が多い

(参考)新規就農者数調査：農林水産省

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sinki/>

その他にも...

- 離農者の多さ
- 後継者不足
- 農地が余ってる
- 収益率の低さ

などの問題が全国的に起こっている

目次

1. 全国的な農業の問題点
2. 豊橋市・田原市の農業の特徴
3. 六次産業とは？
4. 豊橋市・田原市での3つのインタビュー先の紹介と内容
5. 分析から考える全国の農業の発展に必要なこと

2. 豊橋市・田原市の農業の特徴

1. 耕作放棄地率

2. 農業産出額の多さ

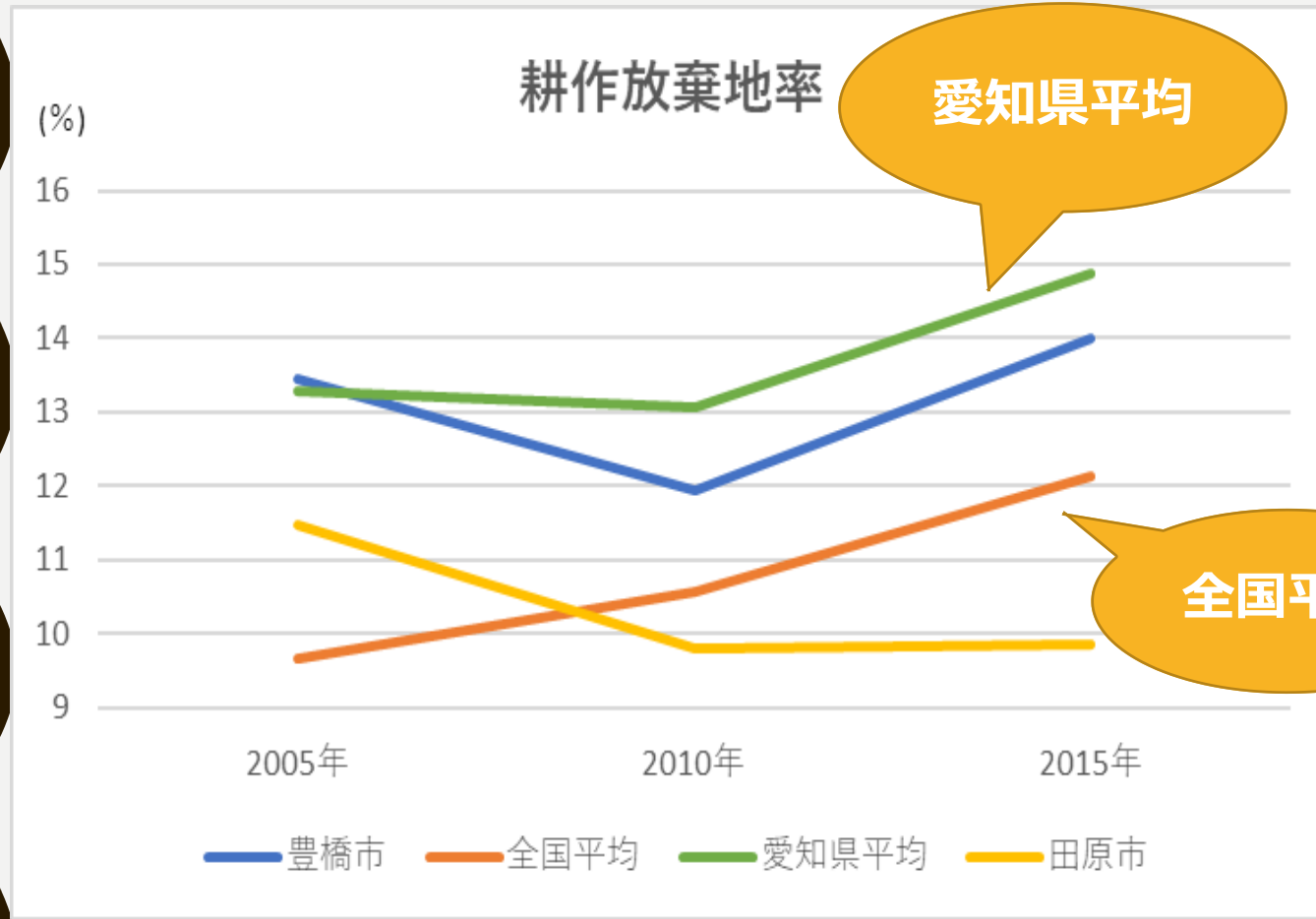
3. 就農者の平均年齢の若さ



豊橋市の農業営業本部長
うずらっきー

2と3の特徴「農業産出額の多さ」「就農者の平均年齢の若さ」
は他の農業が衰退している地域に活かせる部分があるのではない
か？と思い、この2つの地域を調べ始めた

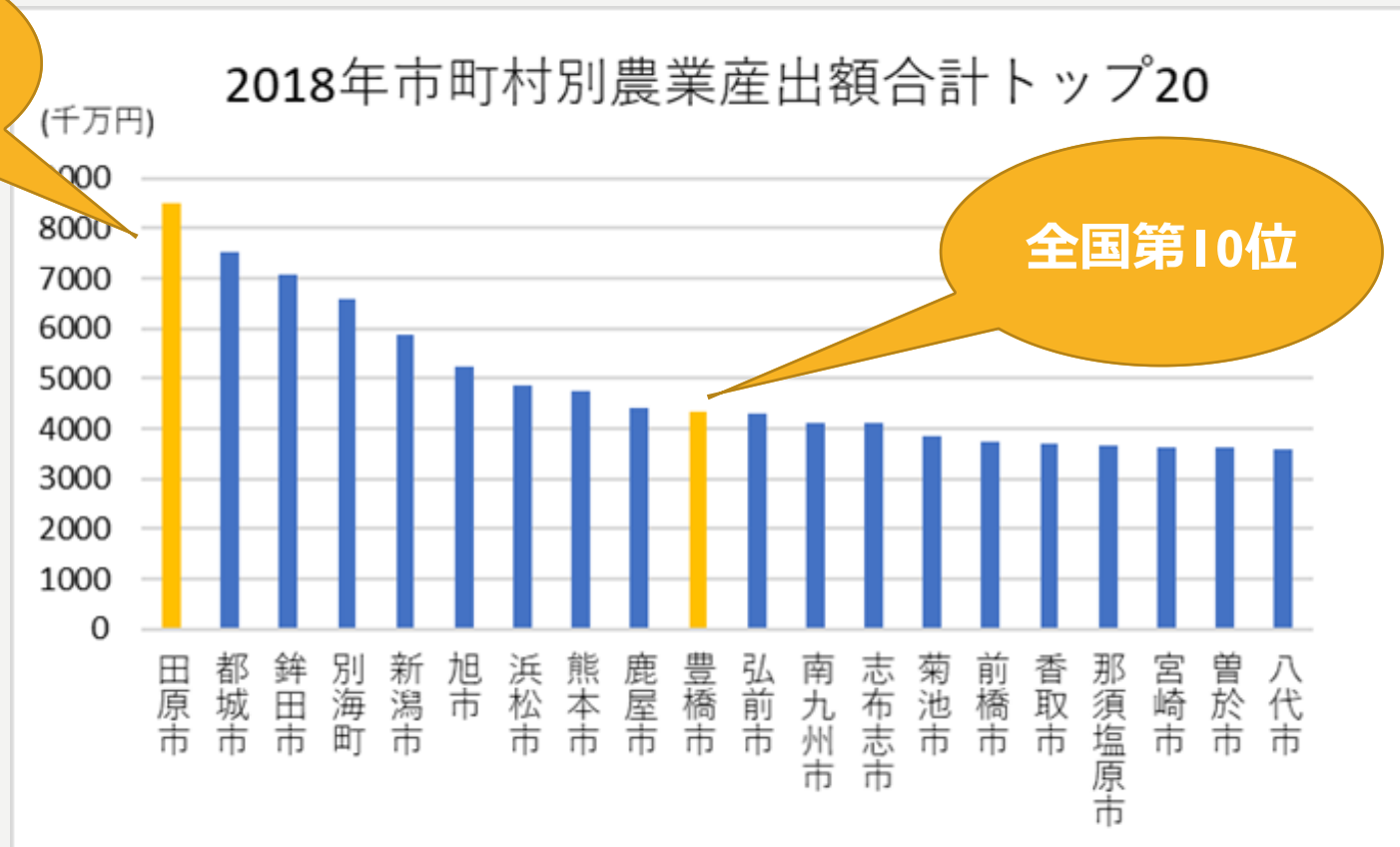
2-1.耕作放棄地率



- 愛知県の平均は全国平均より大幅に高い
- 豊橋市も全国平均より高く耕作放棄に悩んでいる
- 田原市は2010年から全国平均を下回っている。

2-2.農業産出額

全国第1位

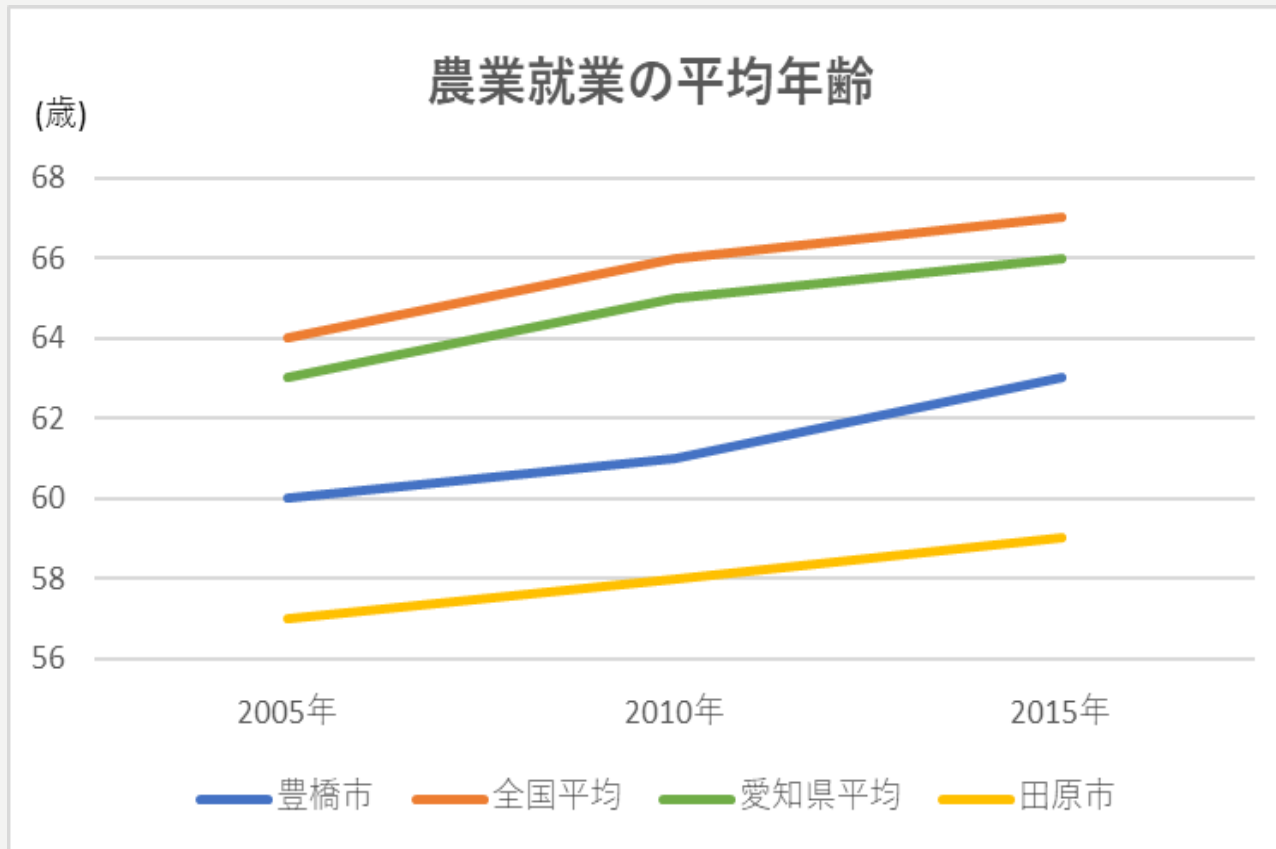


全国第10位

RESASより作成 産業構成マップ→農業→農業産出額

トップ20のうち、10位以内に愛知県内では2つの市がランクイン

2-3.就農者の平均年齢



- どの地域でも高齢化している
- 豊橋市・田原市
⇒どの年でも全国や愛知県平均と比べて若い
- 特に田原市は60歳以下である

RESASより作成

産業構成マップ→農業→農地分析(農業者分析-年齢構成・平均年齢)

目次

1. 全国的な農業の問題点
2. 豊橋市・田原市の農業の特徴
3. 六次産業とは？
4. 豊橋市・田原市での3つのインタビュー先の紹介と内容
5. 分析から考える全国の農業の発展に必要なこと

3. 六次産業とは？

$$1_{\text{次産業}} \times 2_{\text{次産業}} \times 3_{\text{次産業}} = 6_{\text{次産業}}$$

生産

加工

流通・
販売

農林漁業者が生産・加工・流通（販売）を一体化



所得向上・雇用の場の創出・地域の活性化

目次

1. 全国的な農業の問題点
2. 豊橋市・田原市の農業の特徴
3. 六次産業とは？
4. 豊橋市・田原市での3つのインタビュー先の紹介と内容
5. 分析から考える全国の農業の発展に必要なこと

インタビュー先の紹介①



・石巻柿工房

取材日：9月16日(水)(ZOOMにて取材)

選んだ理由：「いいともあいち」の六次産業のカatalogに載っていたため

対応してくれた人：原田愛子さん

豊橋市の石巻地域特産の「次郎柿」の栽培と共に農家の経営安定を目指している。六次産業を取り入れながら次郎柿の新しい食べ方(柿ペースト・柿あん・柿のあめなど)を発信しブランド化に貢献をしている。

インタビュー先の紹介②

・渥美どろんこ村

取材日：9月27日(日) (対面にて取材)

選んだ理由：「いいともあいち」の六次産業のカatalogに載っていたため

対応してくれた方：小笠原弘さん、渡部千美江さん

- ・農業だけでなく、畜産も行っている
- ・作っている食べ物を販売しているという意識ではなく、「暮らし・生活そのもの」という「サービス」を販売している意識で経営
- ・Catalogに掲載されていたウインナーだけでなく、シフォンケーキなども販売



インタビュー先の紹介③



・豊橋市役所 (豊橋田原広域農業推進会議)

取材日：9月23日(土)(ZOOMにて取材)

選んだ理由：六次産業を支援する側の豊橋田原広域農業推進会議にも

取材したいと考えたため

対応してくれた方：農業企画課の白藤さんと野田さん

豊橋市の産業部農業企画課がJAと連携し、豊橋田原広域農業推進会議を運営。豊橋・田原の広域市町村圏における農業の活発化のため、地産地消や食農教育・IT化などの先進的な取り組みを進めている。

インタビュー内容 ~石巻柿工房~



- 柿ができて、5割はB級品 ⇒ それらはどうしても二束三文にしかない
- **6次産業は販路先を見つけるのが難しい(売る過程が難しい)**
- **6次産業のプランナーさんと出会ったことで、6次産業に参加するようになった**
- 各農家さんが家で普通に作っているけど、商品になっていないものが世の中にはたくさんあるのではないかな？
→どこかに商品になりそうなものが潜んでいるかも(それを商品にするきっかけが必要)
- **採算が合わなければ、みんな6次産業をやめていく**
- 石巻柿公房は大臣賞などをいただいているように見えるけど、**実際は赤字にはなかなかならないのが現状**

インタビュー内容 ~渥美どろんこ村~



- 野菜・豚だけでなく、“暮らし”を売る = 暮らしの0次産業化
- 「自給自足・持続可能な暮らし」を大事にしている → 地産地消が自然にできている
- 農園の豚や卵を使ったウィンナーやシフォンケーキを提供
⇒ 六次産業の目的「農家の収入を増やす・農業の価値を広めるため」
- 現在は個人単位だが今後は学校のクラス単位の体験学習を予定している
⇒ **体験の対象者を広げる狙い**がある
- 農業の魅力をいかに発信していくかを重要視
- **農業体験者から、後継者が1人・新規就農者が2人**

渥美どろんこ村の生産農業

- **キャベツなど露地野菜の生産**
(生計のための栽培)
- **ストレスフリー豚の飼育**
(月1回の出荷)
- **ヤギや鶏の飼育→農家カフェの菓子等の原材料の供給**
(シフォンケーキ等の6次産業化商品の製造・販売)
- **豚の6次産業化商品の製造・販売**
(ハムやソーセージ等の6次産業化商品の製造・販売)

第一次産業

第二・三次産業

渥美どろんこ村の付加価値農業

育てたもので生活(自給自足)し、足りない人手を体験を通じて補充

- **体験農業／農家**
- **ファームステイ**



暮らし(生活)を売るというモデルの完成

- **課外授業**
- **新規就農者の受け入れ**



後継者の増加

インタビュー内容

～豊橋市役所（豊橋田原広域農業 推進会議）～

- 豊橋市は**施設園芸**が盛ん(トマトなど)
 - ⇒ **施設園芸**：設備や機材に**お金がかかる**＝銀行からの**借入は若者でないと難しい**
 - ⇒ 農業就業者に**若者の割合が高い**
- **技術教育環境が充実**
 - ⇒ 愛知大学と豊橋技術科学大学に食農コースや六次産業化の人材育成コースを設立、
農協で技術支援のセミナーを開催
- 豊橋の課題
 - ⇒ **農地が多く余ってしまっている**



目次

1. 全国的な農業の問題点
2. 豊橋市・田原市の農業の特徴
3. 六次産業とは？
4. 豊橋市・田原市での3つのインタビュー先の紹介と内容
5. 分析から考える全国の農業の発展に必要なこと

インタビューでのポイント

- 6次産業は**販路先を見つけるのが難しい**(=なかなか売上につながらない)
⇒所得向上が目的の六次産業であるはずなのに...？
- 6次産業のプランナーさんと出会ったことで、6次産業に参加するようになった
⇒**プランナーの役割大、プランナーと農家の出会いの場が大事**
- **豊橋市内で耕作放棄地率が高い**ことが問題
⇒どろんこ村のような**農業体験施設が増えれば、新規就農者数↑ & 後継者育成できる**
(実際にどろんこ村から、新規就農者と後継者が誕生している)
⇒**耕作放棄率↓**
- 大学のコースに**食農コースを設立**
⇒農業の技術がある人が新しく農業へ参入してくる
(大学で学ぶことで、**新しく農業を始めるハードルが低くなる**)

どろんこ村のよう
な施設を増やす



農家の「暮らし」
を売る
(=農業体験)



農家さんが普段か
ら食べている農産
物を使った料理を
その場で提供



農業を始める人
が増える



体験することで農
家の楽しさを知る



六次産業を知る
きっかけに

新規就農者数
&後継者UP

耕作放棄地率
DOWN

参考資料

- 総務省統計局 / 労働力調査
<https://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html>
- 新規就農者数調査：農林水産省
<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sinki/>
- RESAS
<https://resas.go.jp/>
- 愛知県産農林水産物商品カタログ「いいともあいち」
<https://www.pref.aichi.jp/nousei/iitomo/file/katarogu.pdf>



ご清聴ありがとうございました

